



平成29年8月31日

とべだより

9月号

横浜市立戸部小学校

校長 柳澤 潤

みんなの力で

学校長 柳澤 潤



学校に、子どもたちの笑顔と元気な声が、戻ってきました。「こんなに楽しいことがあったよ」、「いろんな人に会ったよ」などと、子どもは、話したいことでいっぱいです。話したい気持ちをしっかり受け止めることから、学校生活をスタートさせていきます。長い休みの後ですから、保護者の皆様も心配事があれば、遠慮なく担任、児童支援専任、養護教諭等にお知らせください。

さて、7月16日（日）に戸部小で行われた「ふれあいの夕べ」では、主催のPTAの皆様、後援の第一地区・第4地区・桜星会の皆様をはじめ、関係者の皆様大変お世話になりました。校庭中央には、立派なやぐらが立ち、トラックには、ミニSLが走る線路が敷かれ、十張を超えるテントが並び、各ブースでは、飲食店、ゲーム、バザーなど盛りだくさんに準備されました。まずびっくりしたことは、SLが校庭を走ったことです。朝から地域のSL保存会の方が、線路を組み立て、石炭を焚き、蒸気をふかして試運転を重ねています。私は、初めて試乗させてもらいました。うれしくて手を振りながら校庭を一周しました。午前11時から始まった「ふれあいの夕べ」には、子どもたちや地域の方が次々に集まり、人であふれました。近隣の老松中学校からは、吹奏楽部の演奏、舞踏DANによる踊りの発表があり、華やかな演出になりました。本校からも5・6年生と一緒に踊りで出演しました。4・5組の「フラ」の発表もさせてもらいました。浴衣で楽しむ子どもたちもたくさんいて、まちの行事として、みんなで楽しむことができました。盆踊りを中心になって踊ってくださる皆様や、綿菓子を作り続けてくださるおやじの会の皆様、設営の青少年指導委員・スポーツ推進委員の皆様、ごみの分別回収のコーナーを作ってくくださる地域振興課と資源循環局の皆様など、多くの方が支えてくださいました。みんなの力でやり遂げたという達成感を味わいました。まさに、「ふれあい」の醍醐味だったと思います。

夏休みが明けて、学校は一気に活気づきます。9月16日（土）には、とべスポ（とべとべスポーツフェスティバル2017）をひかえ、練習にも力が入ってきます。実は、戦いは夏休み前の、とべスポ出発式から始まりました。そこでは、自分のチームが赤組になるか白組になるかが決まるのです。決め方は、代表選手の一騎打ちの結果によります。一人綱引きや、腕相撲、跳びつき綱引きなど、真剣勝負が続き、体育館の中は、すごい応援合戦になりました。伝統の式には、戸部の子どもたちが本気になる仕掛けがあります。最後は、とべスポ委員会委員長が「歴代最高のとべスポにしましょう」と全児童の前で宣言をして、式を終えました。

赤組白組のスローガンは、「燃えろ赤組マグマのように、目指せ赤組優勝だ!」、「白く輝く銀河のように、優勝目指してつきすすめ!」です。何とも勇ましいスローガンです。赤白のマスコットキャラクターも決まり、聖火台のデザインも決まりました。とべスポまで、3週間。天候など、よいコンディションで練習を重ねることができれば、と願っています。

戸部小の子どもたちは、真っ直ぐで一生懸命です。みんなの力が結集します。保護者・地域の皆様、子どもたちの本気の姿に、引き続き、大きな声援と励ましをお願いします。